



# 晴天の心

立教186年12月号  
大阪府富田林市寿町4-9-10

URL: [www.tomiishi.net](http://www.tomiishi.net)

TEL: 0721-23-3466 090-5243-4669



月次祭 12月19日(日) 午前10時～  
婦人会例会 12月9日(土) 午前10時～



## 初冠雪と紅葉

今年は急に冬が来たようなそんな気がしませんか？

10月は暑い日が続き11月になっても秋の気配があまり感じられなくて、第2週に突然、金剛山の初冠雪の情報が届き、一気に秋が深まった。

あっという間に色づいて落葉していく木々。

本当に秋が短くなったと感じませんか？

車の中はいつも快適な温度になっていることが多いですから、あまり季節を肌で感じる事が少ないと思います、今年の5月から乗り始めた125ccのバイクで走ると、直接外気に触れるので気温や香りを直接感じ取ることが出来ます。

毎月、月末に支部内の教会に配付物を届けるために約2時間バイクで走るのです。春の優しい風や夏の照りつける日差し、秋のちょっと冷たく感じられる風、そして、ヘルメットの隙間から入ってくる凍てつく冷たい風の冬。その変化を感じられるありがたさ

香りも温度も風が運んでくるのです。

火・水・風のご守護を肌で感じながら御用をしていると、かしまのかりものの教えやこの自然の中で生かされているのだと痛感します。

今日の  
おやのことは  
「綺麗な道」  
心さえ綺麗な心持って居れば、  
綺麗な道が付く。



おさしづ 明治31年8月3日

## おやのことば

言葉には、これから実現すべき理想や目標を指し示し、人を導いていく力があります。

歴史上の偉人とされる人々の語録や有名な思想家たちの残した言葉の多くは、時代や文化の枠を超えて、私たちの心の支えになっています。また、著名人の言葉でなくても、家族や友人、知人といった身近な人たちの言葉が、人生の支えになるケースも少なくないでしょう。

もちろん、この世界の存在と人生の意味を明示するとともに、親神様の思召を伝える原典の中には、人間のあるべき姿を伝え、人生の指針を示す言葉が凝縮されています。

私のような、ごく平凡な人間でも、「おさしづ」のお言葉にふれることで、少しずつ心の向きが変わってきたと感じられるのは、そこに語られている理想の生き方の多くが、毎日の生活に直結しているからです。

「心さえ綺麗な心持って居れば、綺麗な道が付く」

最近、折にふれて心に思い浮かべ、反芻することの多いお言葉です。とかく結果ばかりが重視される世の中ですが、やはり目標に向かうプロセス（過程）も大切ではないでしょうか。

高校生の息子に、よく「まじめでなくてもいいから”良い人”になってほしい」と言い聞かせています。返事は「ハイハイ」か「ふ～ん」のどちらか。あまり反応はありませんが、少しはこちらの気持ちも伝わっているのでしょうか。（岡）

私の子供たちへ

高石友也とザ・ナターシャー・セブン  
作詞・作曲 笠木 透



- 1 生きている鳥たちが 生きて飛び回る空を  
あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは  
目を閉じてご覧なさい 山が見えるでしょう  
近づいてご覧なさい 辛夷（こぶし）の花があるでしょう
- 2 生きている魚たちが 生きて泳ぎ回る川を  
あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは  
目を閉じてご覧なさい 野原が見えるでしょう  
近づいてご覧なさい 竜胆（りんどう）の花があるでしょう
- 3 生きている君たちが 生きて走り回る土を  
あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは  
目を閉じてご覧なさい 山が見えるでしょう  
近づいてご覧なさい 辛夷の花があるでしょう



歌詞ということばは、詩として読むとその人個人個人の感性で受け取り感じる。これにメロディが付くと歌になるのですが、歌になって楽譜上では同じものであっても、今度はそれを表現する歌手によってそれぞれの感じたところが違うので、表現も変わってくる。

また、レコーディングスタジオで作られ CD などの音源となったものと、観客がいてその反応を受けてのライブとでは、また違ったものとなると思う。そう化学反応が起こったように変わるのがことば。同じようなことを伝えようとしても、ことばの紡ぎ方やその人の生きてきた環境で紡ぎ出すことばも変わる。高石ともやさんの歌は、優しくそして強い。そんな歌が多いです。

## 教祖伝逸話篇

### 137.言葉一つ

教祖が榊井伊三郎にお聞かせ下されたのに、

「内で良くて外で悪い人もあり、内で悪く外で良い人もあるが、腹を立てる気儘癩癩は悪い。言葉一つが肝心。つく息引く息一つの加減で内々治まる。」と。

又、「伊三郎さん、あんたは外ではなかなかやさしい人付き合いの良い人であるが、我が家に帰って、女房の顔を見てガミガミ腹を立てて叱ることは、これは一番いかんことやで。それだけは今後決してせんように。」と仰せになった。

榊井は、女房が告げ口をしたのかしらと思ったが、いやいや神様は見抜き見通しであらせられる、と思い返して、今後は一切腹を立てません、と心を定めた。すると不思議にも家へ帰って女房に何を言われても、一寸も腹が立たぬようになった。

### 39.もっと結構

明治七年のこと。西浦弥平の長男檜蔵（註、当時二才）が、ジフテリアにかかり、医者も匙を投げて、もう駄目だ、と言うている時に、同村の村田幸四郎の母こよから、にをいがかった。お屋敷へお願いしたところ、早速、お屋敷から仲田儀三郎が、おたすけに来てくれ、ふしぎなたすけを頂いた。弥平は、早速、檜蔵をつれてお礼詣りをし、その後、熱心に信心をつづけていた。



ある日のこと、お屋敷からもどって、夜遅く就寝したところ、夜中に、床下でコトコトと音がする。「これは怪しい。」と思って、そっと起きてのぞいてみると、一人の男が、「アッ」と言って、闇の中へ逃げてしまった。後には、大切な品々を包んだ大風呂敷が残っていた。弥平は、大層喜んで、その翌朝早速、お詣りして、「お蔭で、結構でございました。」と、教祖に心からお礼申し上げた。すると、

教祖は、「ほしい人にもろてもろたら、もっと結構やないか。」と、仰せになった。弥平は、そのお言葉に深い感銘を覚えた、という。

### 197.働く手は

教祖がいつもお聞かせ下されたお話に、

「世界中互いに助け合いするなら、末の案じも危なきもない。仕事はなんぼでもあるけれどもその仕事をする手がない家もあれば、仕事をする手はなんぼでもあるが、する仕事がない家もある。奉公すればこれは親方のものと思わず、陰日向なく自分のことと思うてするのやで。秋にでも、今日は鬱陶しいと思うたら自分のものやと思うて筵でも何でも始末せにゃならん。陰日向なく働き、人を助けて置くから、秋が来たら襦袢をこしらえてやろう、何々してやろう、と言うようになってくる。こうなってくると双方助かる。同じ働きをしても、陰日向なく自分のことと思うて働くから、あの人如才ない人であるから、あの人を雇うというようになってくる。こうなってくるとなんぼでも仕事がある。この屋敷にいるものも、自分の仕事であると思うから、夜昼こうしよう、ああしようと思心にかけてする。我が事と思うてするから我が事になる。ここは自分の家や、我が事と思うてすると、自分の家になる。陰日向をしてなまくらをする、自分の家として居られぬようになる。この屋敷には、働く手はいくらでもほしい。働かん手は一人もいらん。」と。

又あるときのお話に、「働くというのは、はたはたの者を楽にするから働くというのや。」とお聞かせ下された。(M24,11,28)

「働く手は」の逸話を読むと仕事に対する心構えが見えてきます。つい働いている時間であったり給料ばかりが気になっていないでしょうか？「親切が先商売は後」と言うように言った経営者もいますが、このことばも「働く手は」と同じ事を示しているように思います。確かに慈善事業ではない会社組織では収益は大切なのですが、そこに至るためのプロセスを間違えないようにしないとイケないですね。(会長拝)

「お願いづとめ」後におさづけの取り次ぎを受け付け ■ 2023年10月28日

「教祖百四十年祭準備会議」はこのほど、日曜・祝日および毎月25日に勤められている「お願いづとめ」終了後、願い出た者に対して、おさづけの取り次ぎを行う旨を発表しました。

開始は11月3日(金)。時間は、お願いづとめ終了後(午前11時45分ごろ)から午後零時30分まで。なお、今年11月25日のお願いづとめは正午開始、おさづけの取り次ぎは午後1時まで。

場所は、西礼拝場。当日、殿内に設けられた受付で、所定の申込用紙に必要事項を記入してください。

### 本部お節会

日時 2024年1月5日(金)～7日(日)  
10:00～13:00

場所 天理教教会本部

説明 団体受付＝境内掛本所前広場  
一般受付＝真東棟前広場

全国各地から本部神殿にお供えされた鏡餅が、1月4日の「鏡開き」で食べやすい大きさにまで切り分けられ、すまし汁のお雑煮として振る舞われます。

教祖ご在世の時代から1世紀を超えて続いている、親里の伝統行事です。

今回からおかわりが出来るようになりました。

当日 中河詰所の受付でも一般券を配布されていますので、どうぞおいしいおせちをお楽しみください。また、事前に必要な方は教会(090-5243-4669ふしい)までご連絡ください。次号に同封いたします。



### 大阪教区婦人会 本部回廊ひのきしん

12月25日(月) 11:30～ 本部西礼拝場集合

本部お願いづとめ おつとめ後回廊ひのきしんを行います。

年の瀬の忙しい時期ではありますが、どうぞご参加ください。

